

おおきくなるということは・・・。

(どの子どもみんなが1年間、元気に・なかよく・楽しく過ごせるために)

新しい学年、新しいクラス、1年の最初の挨拶です。元気にあいさつしましょう。お早うございます。(おはようございます。)

さあ、新しい1年の始まり、桃五小の皆さんの来るのを待っていたように、校庭の桜もきれいに咲き、3学期には茶色かったのがウソのように校庭の芝生も鮮やかな緑色。春満開、桃五小スタートの日、皆さんの笑顔と、桜の花と、芝生の緑がまぶしい始業式です。

そして、今年度初めての挨拶も、皆さんの元気で気持ちよくできました

つい何日か前までとは違い、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に。そして、5年生は最上級生の6年生になりました。ついこの間の3月の終業式で皆さんとお別れしたときとは、立っている場所も、学年も違いますね。このあと桃五の仲間入りをする新1年生もピッカピカですけれども、ここにいる皆さんもみんなピッカピカですよ。

ピッカピカの2年生、ピッカピカの3年生、4年生も5年生も、ピッカピカ。卒業した6年生に変わって、最上級生の6年生もピッカピカですね。

新しい1年を、またみんなを迎えられることに感謝して、この1年をよい1年にしましょう。

今朝も、皆さんを迎えていると、たくさんのお友達が、校長先生、「今年も一年間よろしくお願いします。」「先生、もう〇年生になったよ。一年間がんばるから、今年もよろしくお願いします。」みんなみんな笑顔です。

去年と同じように今朝も、ピッカピカの2年生の子がいかにも楽しそうにかけ寄ってくると「黄色いランドセルカバーが取れたんだよ。黄色い帽子もないよ。今日から2年生なんだ。」と、胸をはり、目をキラキラさせて話してくれました。

そう、どの子ども、どの学年の人もみんなみんなピッカピカの〇年生なんだね。そして、今日から新しい学年。夢や希望、やってみたいこと、楽しみなこと、胸をいっぱいふくらませて来ているんですね。

どの学年の人もみんなみんな、進級おめでとうございます。今ここにいる2年生から6年生に、今日これから入学する1年生を足して、全部で588人での、桃五小のスタートです。

さて、ところで、今日こんなふうにみんなが進級し、新しい1年生が入学して、全員がそろって新しい1年を始めることができるのは、じつは、今ここにいる新6年生のおかげなのです。

1年生から5年生までの皆さんが、まだ春休みで休んでいた先週の金曜日の午前中、ついこの間まで5年生だった新6年生が学校に来て、始業式や入学式など、桃五小が新しい1年を始められるように、荷物を運んだり新1年生の教室を掃除して名札を付けたり、体育館を掃除したり、いろいろなお仕事のお手伝いをしてくれたのです。つかれるからやだ。とか、何で私たちがやるの。とかいう人は一人もいません。一人一人が今何をすればいいのかそれぞれ自分で考えながら、一生懸命働いてくれました。桃五の皆のために、自分たちより年下の皆さんのために。

そのおかげで、今日皆さんは新しい学年に進級できているのです。6年生の皆さん

ありがとう。そして、ついこの間まで一緒にいた前の6年生も、今頃はきっと中学生になるための心の準備をしていることでしょうね。

そこで、今日は「大きくなるということは」という話をします。

今日、こうやって皆さんがそれぞれ1年進級し、大きくなったということは、できるようになったことが増えてきたということ。そして、いろいろなことができるようになったということは、やっではいけないことややらなければいけないことが増えてきたということ。そして何よりも自分より年下の子が増えるということ。

ですから、自分の力で我慢したり努力したりして、やっていいこと悪いこと、やらなければいけないことをきちんと見分けて、我慢してがんばれることができるようにしたいですね。それが、大きくなった子が年下の子を大切にすることです。

学校は自分だけではなくどの子も、みんなが、「元気に、なかよく、楽しく」過ごせるところでなければいけません。

「元気に」、怪我や病気にならずいつも健康で明るく過ごせるように皆がお互いに気をつけ合う。

「なかよく」、自分も人もみんながいやな思いをせず過ごせるために、それぞれに少しずつの我慢を出し合って人の気持ちを大切にしよう。

「楽しく」、だれもができないことをできるように頑張り、得意なこと面白いことを見つけることができるようにお互いを大切にしよう。

みんながそんな気持ちで過ごすには、自分のことも、友達のこと、桃五にいるみんなのこと、大切にしようとする気持ちがとっても大切だと思ふのです。

そのためには、当たり前前のルール、「あぶないことはしない。人の迷惑になることはしない。ルールは守る。」から始めたいと思ふのです。1年生でも守れる約束です。でも、6年生でもまだできない人もいます。

今日の入学式では1年生に「目と耳と心でお話をしっかり聞く」「目と耳と心を使って友だち百人つくりましょう」という約束をしようと思ふます。学校は、できないことをできるようにするところ。小さな約束を積み重ねて、自分も人も大切にしたいですね。そしてみんなが当たり前前の約束を当たり前前に守れる桃五小にしたいですね。

桃五小の皆さん一人一人がこんな気持ちで過ごしていけると、きっと友達をたくさん作り、苦手なことに頑張り、夢中になって取り組めるおもしろそうなことをみんなが見つけられる、そんな楽しい学校にすることができると思ふます。

桃五の子みんなが元気に、なかよく、楽しく1年間過ごせるように、友達に、教室に、緑の校庭に、先生に、挨拶しましょう。「1年間、よろしくお願ひします。」

(よろしくお願ひしまあす。)

